

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公開番号】特開 2009-96180 (P2009-96180A)

【公開日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2009-018

【出願番号】特願 2008-239017 (P2008-239017)

【国際特許分類】

B 2 9 B 13/10 (2006.01)

B 0 7 B 1/28 (2006.01)

B 0 7 B 1/46 (2006.01)

【F I】

B 2 9 B 13/10

B 0 7 B 1/28 Z

B 0 7 B 1/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円柱状の樹脂ペレットを振動する篩機上の篩面で選別する方法において、円柱状の樹脂ペレットの直径が D 、長さが H としたとき、 D と H がなす対角長の長さを L とし、 L に対して $1.05 \sim 1.15$ 倍の孔径 d の孔を複数個有する篩面で選別することを特徴とする樹脂ペレットの選別方法。

【請求項 2】

篩面での幅方向の孔空けのピッチ P が、 $1.8 \sim 2.0d$ であることを特徴とする請求項 1 記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項 3】

円柱状の樹脂ペレットの対角長の長さ L が 4 mm 以上 5 mm 未満であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項 4】

篩機の振動数が $2000 \sim 4000\text{ vpm}$ であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項 5】

篩機の振幅が $0.3 \sim 0.75\text{ mm}$ であることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明者らは、これらの課題を解決すべく鋭意検討し、異常形状ペレットの除去率を向上させることのできる方法を見出し、本発明に至った。すなわち、本発明の樹脂ペレット

の選別方法は、以下のとおりである。

1．円柱状の樹脂ペレットを振動する篩機上の篩面で選別する方法において、円柱状の樹脂ペレットの直径が D 、長さが H としたとき、 D と H がなす対角長の長さを L とし、 L に対して $1.05 \sim 1.15$ 倍の孔径 d の孔を複数個有する篩面で選別することを特徴とする樹脂ペレットの選別方法。

2．篩面での幅方向の孔空けのピッチ P が、 $1.8 \sim 2.0 d$ であることを特徴とする1記載の樹脂ペレットの選別方法。

3．円柱状の樹脂ペレットの対角長の長さ L が 4 mm 以上 5 mm 未満であることを特徴とする1または2記載の樹脂ペレットの選別方法。

4．篩機の振動数が $2000 \sim 4000 \text{ vpm}$ であることを特徴とする1 \sim 3のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。

5．篩機の振幅が $0.3 \sim 0.75 \text{ mm}$ であることを特徴とする1 \sim 4のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。